

## 榛原・伊那佐山から沢城址へ

4月、やまと法律事務所の松岡弁護士から「一緒に山に登らないか」とのお誘いを受けた。松岡弁護士は私と同年配だが、若いころから登山にも親しみ、何よりもトライアスロンを続けていたタフガイである。

電話をしてきた同事務所のHさんに「いやー、僕はもうヨボヨボだよ。『ゆっくり登山』しか出来ないんだ」と答えたが、「先生もゆっくりやねん。松尾さんの山行記事を見て、ほぼ同じくらいと言っていた」と言われ、お互いに若いころから、いろいろと援助頂いた松岡先生からのお誘いに応じることとなった。

### 元気な人たちとの同行、果たしてどうなるか？

当日4月23日(土)8時45分、近鉄榛原駅前に車で迎えに来たのは、意外にも明日香村の森本村議だった。そういえば彼の奥さんはやまと法律事務所を定年退職後、前述のHさんらと盛んに山歩きをしていて、「赤旗」紙上でも健筆をふるっておられる。また車に同乗したのは寺前憲一さんだ。彼もほぼ毎日二上山に登っているつわものだ。こうした元気な人々と一緒に山登りをするのかと、不安になった。

### 心安らぐ伊那佐地区の里山・田園風景

集合場所は宇陀市比布の伊那佐文化センター駐車場。「伊那佐山登山者駐車場」と書いてある。道路横を芳野(ほうの)川が流れ、川を挟んだ斜面に田畑が広がり、その中に集落や林が静かに佇んでいる。癒される眺めだ。車はその風景の中を榛原山地めがけて走り、道が広がったところに駐車して、登山開始。ダブルストックで歩き始める。路傍にはカキドオシ、スマレ、キランソウなど春の花が咲いている。道はすぐに杉林の中に入る。

### 眺望が狭まっていた伊那佐山山頂

道は歩きやすく、健脚の一行に遅れがちながら、なんとか登り、最後の急登を登り切って637mの伊那佐山山頂に。神社社屋があり、木の間越しに音羽三山が見えるが、何十年前にはもっと展望が広がっていたと憶えていて、それが少々残念。

### かつて高山右近が暮らしていた沢城の跡

休憩後、稜線の道を南東に進む、やがて大きなピークにかかり、沢城跡(標高524m)の東側を回り込む。沢城はキリシタン戦国武将・高山右近が少年時代を過ごした場所でもある。

道標にも「ダリヨ&ジュストの道」と書かれている。ジュストは右近の、ダリヨは父高山友照の洗礼名である。

### 城下での右近の碑と像

沢城内には教会が建てられ、家臣・領民の多くが改宗したとされ、右近が洗礼を受けた場所には、その記念碑と少年右近の像が建てられている。(写真右)



↑途中の道標。右八滝、左嶽大明神と記載





↑キランソウ

法 20 条は、信教の自由を謳うと共に国家-行政が特定の宗教に特権を与えたり、宗教活動をするを固く禁じている。

### 領地・生活を捨てて信仰に生きた右近

右近はのち、摂津・高槻の領主になり、そこでもキリスト教の保護・普及に努めるが、秀吉の禁教令に伴い領地・身分を捨てて信仰を貫き、バテレン追放令によってフィリッピン・マニラに赴き、そこで客死している。近年、ローマカトリック教会は、高山右近の功績を称えて「福者」（カトリックにおいて、死後その人の徳と聖性を認められて与えられる称号）に叙している。

### 一方で仏教その他を弾圧した右近

一方で右近は、領地内の仏教等を弾圧し仏閣・神社を破壊したとされている。政治と宗教が結びついたことによる負の面だが、古今東西あまたの例がある。

「政教分離」は人類が歴史を通じて到達した近代民主主義の重要な原則だ。憲

## 続・続・二上山に咲く花々 30

### ホオノキ（朴の木）

### モクレン科モクレン属

大阪側登山口の一つ「万葉の森」の登山道の傍らにホオノキが3本たっています。秋になると大きな葉を地面に散り敷くので、すぐにわかります。

春から初夏にかけて大きな（直径 15 c m）白い花を咲かせますが、何分大木なのと、30～40 cm もの大きな楕円形の葉の集まり（輪生状）の上に、上向きに咲くので、花そのものは見過ごしてしまいがちです。

でも大きくて、強く甘い芳香を放つこの花は魅力いっぱい。昔から、日本人に親しまれてきました。

「奥飛騨の棒の雨ふる朴の花」（白鳥竣）、「朴ひらき大和に花をひとつ足す」（森澄雄）、「花に朴人にはありし志」（後藤比奈夫）など詩歌にも詠まれてきました。ちなみに、「朴の花」は初夏の、「朴の実」は晩秋の、そして「朴落葉」は初冬の季語となっています。



↑ホオノキの花 写真はいずれも5月初旬二上山で

### 懐かしい朴葉味噌料理

ホオノキでまず想いだすのは、飛騨高山の宿で出された朴葉味噌料理です。皿のようにひろげた枯れた朴葉に肉やキノコを味噌と一緒に載せ、下から焙りながら食べましたが、朴葉と味噌の香りが食欲をそそり、不覚にも食べ過ぎました。絶品でした。殺菌力・抗菌力があるとされる朴葉は昔から食品保存にも、食器代わりとしても使われてきたそうです。



### アレロパシーを持つホオノキ

ホオノキはある物質を出して、他種植物の発芽や成長を阻害するとされています。こうした植物の働きはアレロパシー（他感作用）と呼ばれていて、かつて日本の空き地を席捲したセイタカアワダチソウや今、川の土手や空き地に爆発的に広がっているナヨクサフジ（別名ヘアリーベッチ）は強力なアレロパシーを持っているとされています。

秋に咲くヒガンバナもこのアレロパシーで雑草駆除にも役立っていると考えられています。

### 農業にも活用されるアレロパシー

現在、アレロパシーは植物間の相互作用、防御作用として捉えられ、農業で活用がすすんでいます。ナヨクサフジによる雑草駆除、一方でトマトとバルジーの相互成長促進など。